

# 動券千葉

85. 7. 13  
No. 1988

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

## 国鉄千葉動力車労働組合

# 中曽根は本気で戦争を準備している!

読んでみたことあり  
ますか?—お子さんの教科書  
来年から、こう変えられる!

中曽根は、今、本気で実際の戦争をやるうとしてゐる。「日米貿易まさつ」問題—対日報復処置諸法案のあいつぐ米議会上程—日米争闘戦激化にみられるように、今や、日帝・中曽根体制は、内外の重圧にきしみながら完全に体制的危機におちこんでゐる。これに対し、日帝・中曽根は、関税障壁の一定程度の緩和に同じく、すさまじい勢いで軍備増強—戦時国家体制づくり—「戦後政治の総決算」攻撃にうって出てきている。

### 中曽根の「総決算」プラン —戦時体制づくりを許すな—

「経済で失つたものを軍事でとりもどす」という米帝・レーガンの側からの「シーレーン—〇〇〇海里防衛」—SDI宇宙核戦争構想への協力—等の「要求」をも逆手にとって、日帝・中曽根は、今や歯止めをはずした大軍備増強—米・ソにつぐ世界第三位の軍事力保有を目的とした「五九中業」の策定、「国家機密法」の強行策動、戦争遂行のための中枢整備・強化—「行革審」答申、そして何よりも戦争を自ら担っていく人間づくり、産報化攻撃としての「臨教審答申」—「国鉄再建監理委答申」—をテコとした凶暴な攻撃にうって出てきている。

### うとしている。

### 「よろこんで戦争にいく」人間づくり めざす小学校社会科教科書に

このような流れを背景に先日一部公表された文部省による次年度採用の「小学校社会科教科書」の検定の実態は、まさに背すじの凍るがごとき反動的なものである。その一例を示す「別表」を見ても、これは明らかに、これからの小学生に「よろこんで戦争に行け。国や天皇のために死んでもよい」というのがよい国民だ。平和憲法の内容など知る必要はない。国を守る自衛隊は強くなくてはならない」という教育をこそやれ、といっているのだ。

中曽根の唱える「三大改革」—国鉄、行財政、教育の狙いが、まごうことなく「戦争国家体制づくり」である。中曽根の「総決算」プログラムが、このような文字通りの暗黒・反動—きなくさい侵略・戦争への道そのものである以上、われわれは絶対に、これを許すわけにはいかない。

七—八月、三里塚—国鉄決戦の猛爆発で、この「中曽根」プランをズタズタに粉砕し、反戦・反中曽根の人民の実力闘争への歴史を大きく切りひらいていくのではないか。それは必ず可能である。

中曽根は、この夏秋に成田用水拡大着工を突破口に三里塚二期本格着工へと突進し、来春「天皇在位六〇年」を大々的に演出することで天皇制—天皇制イデオロギー攻撃を全面開花させ、天皇—国のためには侵略し、死んでもよいとの国民づくり、五月には先進帝国主義の首脳会談—サミットを東京で開催し、経済大国のみならず、米・ソにつぐ世界第三位の政治・軍事大国—日本を内外に誇示する中で、六月衆参ダブル選挙での圧勝—田中角栄なきあとの中曽根「三選」をも狙おうというすさまじい危機と反動の政治プログラムを敷く

国鉄「分割」  
来春教科書の  
小学校教育の  
強化  
現行版と同じ記述もダメ

59年度検定の主な条件指示例（出版労連調べ）

（修=従わないと不合格になる修正意見）  
（改=強制力が弱い改善意見）

	原稿本	指示内容	見本本
憲法	日本国憲法は、前文と百三か条の条文からできています。まず、前文をよく読んで、この憲法が何に重きをおき……（現行本と同じ）	小6で憲法を読ませるのは、程度が高すぎる。（修）	日本国憲法は、前文と百三か条の条文からできています。この憲法が何に重きをおき……
自衛隊	現在、日本には、自衛隊がおかれています。しかし、自衛隊が日本国憲法の平和主義に合うかどうかについては、さまざまな意見があります。（現行本と同じ）	自衛隊法の趣旨を補え。（修） 表現を改めよ。（修）	現在、国の安全を守るために、自衛隊がおかれています。しかし、自衛隊と日本国憲法の平和主義との関連については、さまざまな意見があります。
日の丸	国運本部前に立てられた各国の国旗 国旗はその国の歴史や理想を表すものなので、尊重しあわなければなりません。（写真説明）	日本の国旗がわかるようにせよ。できれば本文でもふれよ。（修）	国運本部前に立てられた日の丸の旗 国旗はその国の歴史や理想を表すものなので、尊重しあわなければなりません。（写真は日の丸のアップへ）
南京大虐殺	日本軍は、南京をせん領したときに、武器を持たない婦人や子どもをふくめて、少なくとも10万人以上の中国人を殺しました。	南京事件については、小学校段階では「人の命をうばった」というだけで目的は達せられる。数字10万人は事実として確定した数字ではない。（修）	日本軍は、南京をせん領したとき、物をうばったり、兵士以外の多くの中国人の命をうばったりしました。
韓国・朝鮮	朝鮮をめぐる戦争 日本は、むかしから朝鮮と中国からすぐれた文化や技術を学んできました。ところが、近代国家への道をあゆみはじめた日本は、この二つの国へせめてむ戦争をおこしました。日清戦争と日露戦争です。	表現を再考せよ。「～を戦場とする」くらいか。（修）	朝鮮が主戦場の日清戦争（以下、全文削除）
	地震と火災の混乱のなかで、朝鮮人が暴動をおこすなどのうわさが流され、これを信じた人々のために、数千人もの朝鮮人が、罪もなく殺されました。	「罪もなく」はいらない。公的発表は200～900人、数千人とするなら、伝聞のかたちにせよ。（改）	この地震と火災の混乱のなかで、朝鮮人が暴動をおこすなどのうわさが流され、これを信じた人々のために、数千人もの朝鮮人が殺されたといわれます。
沖縄・太平洋戦争	日本軍と沖縄県民は、三か月も戦いましたが、県民は、米軍によるほか、日本軍にスパイとうたがわれたり、集団自殺を強いられたりして十数万人のきせい者を出し、沖縄戦が終わりました。	十数万人の数字の資料を提出せよ。（修） スパイ容疑と集団自殺では、集団自殺のほろが多いので、順番を逆にせよ。（改）	日本軍と沖縄県民は、三か月も戦い、十二万以上といわれる県民の死者を出し、沖縄戦が終わりました。しかし、戦場以外でも、本土へ疎開する児童の乗った船がしずめられたこともありました。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!